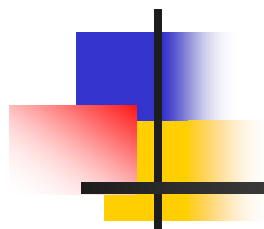


平成22年3月期第2四半期決算説明資料



平成21年12月
滝沢ハム株式会社
(ジャスダック・2293)



会社のプロフィール

平成21年3月31日現在

- 商号 滝沢ハム株式会社
- 本店 栃木県栃木市泉川町556番地
- 代表者 代表取締役社長 瀧澤 太郎
- 設立 昭和25年12月
- 資本金 10億8,050万円
- 売上高 318億7,869万円(連結)
- 従業員 440名(連結)



会社の沿革

- 昭和25年12月 会社設立（株滝沢武商店） 本店東京都千代田区
- 昭和39年12月 宮城県仙台市に仙台工場を新設
- 昭和41年3月 商号を滝沢ハム株式会社に変更
- 昭和47年2月 栃木県栃木市に泉川工場を新設
- 昭和51年10月 オランダで開催の国際食肉ハムオリンピックで金メダル受賞
- 昭和58年5月 栃木本社事務所を栃木県栃木市祝町から栃木市泉川町に移転
- 昭和60年10月 栃木県栃木市に泉川ミートセンターを新設
- 昭和61年4月 栃木県宇都宮市に大谷天然熟成プラントを新設
- 平成2年11月 日本証券業協会に店頭登録（現ジャスダック証券取引所）
- 平成11年10月 栃木県下都賀郡大平町にデリカ工場を新設
- 平成14年9月 手造り工場を生ハム専門工場に改築しチェリースモーク工場に名称を変更
- 平成16年4月 宮城県角田市に仙南みらい工房ビッセン（仙南工場）を新設
- 平成17年1月 本店所在地を栃木県栃木市に移転
- 平成19年3月 栃木県上都賀郡西方町に西方工場「魁」を新設
- 平成20年2月 宮城県仙台市の仙台工場及び栃木県栃木市のいわい惣菜加工センターを閉鎖
- 平成21年8月 栃木県鹿沼市に鹿沼物流センターを新設



事業内容

- 当社グループは、食肉加工品（ハム・ソーセージ）、惣菜商品及び食肉製品の製造、販売を主な事業としております。
- 連結子会社（会社名） （資本金） （事業内容）

株式会社テルマフーズ	60百万円	食肉及び食肉加工品の製造販売
株式会社ワールドフードサービス	20百万円	飲食業
株式会社泉川運輸	20百万円	運送業
株式会社菖蒲フーズ	20百万円	食肉及び食肉加工品の製造販売
六合ハム販売株式会社	10百万円	食肉加工品の販売
株式会社前日光都賀牧場	20百万円	畜産業

平成22年3月期第2四半期決算概要





平成21年12月
滝沢ハム株式会社
(ジャスダック・2293)



平成22年3月期第2四半期決算の総括

- 当第2四半期は、雇用情勢の悪化から個人消費が低迷し商品の低価格化が進行するとともに、食肉相場の低迷や食肉消費の低下もあり、当業界は厳しい状況となりました。
- 当社グループは、新商品の開発や製造コストの削減を推進し生産性の向上に努めてまいりました。販売面においては、市場ニーズに合った低価格志向の商品及び新商品の販売強化を図るとともに、物流の精度向上を目的に平成21年8月に栃木県鹿沼市に鹿沼物流センターを開設いたしました。
- この結果、当第2四半期連結会計期間の売上高は、牛肉、豚肉及び鶏肉とも相場低迷の影響と消費低迷等の要因が重なったことにより、食肉部門の売上が大幅に減少したため150億92百万円(前年同期比7.4%減)となりました。損益面につきましては、ハム・ソーセージ等の売上高増加による粗利益の増加要因及び製造コストの削減効果により、営業利益は2億5百万円(前年同期9百万円の営業利益)、経常利益は1億60百万円(前年同期14百万円の経常損失)となりました。四半期純利益については、旧仙台工場跡地の減損損失等の特別損失22百万円を計上したため1億24百万円(前年同期1億31百万円の四半期純損失)の計上となりました。

四半期損益計算書(連結)

(単位:百万円)

	21年9月期	20年9月期	比較増減	備考
売上高	15,092	16,300	-1,208	
売上原価	12,327	13,694	-1,367	売上原価率-2.3%
販売費及び一般管理費	2,560	2,596	-36	販管比率+1.0%
営業利益	205	9	196	
営業外収益	37	59	-22	
営業外費用	82	82	0	
経常利益	160	-14	174	
特別利益	1	6	-5	
特別損失	22	28	-6	
当期純利益	124	-131	255	

四半期貸借対照表(連結)

(単位:百万円)	21年9月期	20年9月期	比較増減	備考
流動資産	6,223	6,768	-545	たな卸資産-686百万円
固定資産	6,051	6,236	-185	建物及び構築物-124百万円 リース資産+55百万円 土地+42百万円 投資有価証券-115百万円
資産合計	12,274	13,004	-730	
流動負債	7,611	8,011	-400	短期借入金-535百万円
固定負債	2,741	3,101	-360	長期借入金-401百万円
負債合計	10,352	11,112	-760	
資本金	1,080	1,080	0	
資本剰余金	685	804	-119	
利益剰余金	322	73	249	四半期純利益124百万円
その他有価証券評価差額金	-164	-62	-102	
純資産合計	1,921	1,892	29	

四半期キャッシュ・フロー計算書(連結)

(単位:百万円)	21年9月期	20年9月期	比較増減	備考
営業活動による キャッシュ・フロー	794	457	337	税金等調整前四半期純利益+138百万円 たな卸資産の減少+336万円 減価償却費+136百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	-157	-102	-55	有形固定資産の取得-156百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	-495	16	-511	短期借入金の減少-315百万円
現金及び現金同等物の 増加額	141	372	-231	
現金及び現金同等物の 期首残高	1,223	826	397	
現金及び現金同等物の 期末残高	1,365	1,199	166	

部門別売上高

(単位:百万円)

事業部門	21年9月第2四半期		20年9月第2四半期		比較増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	増減率
食肉加工品	5,701	37.8%	5,581	34.2%	120	2.1%
惣菜その他	2,451	16.2%	2,266	13.9%	185	8.2%
食肉	6,850	45.4%	8,354	51.3%	-1,504	-18.0%
その他	90	0.6%	98	0.6%	-8	-9.0%
合計	15,092	100.0%	16,300	100.0%	-1,208	-7.4%

食肉加工品

生ハム、ハム・ソーセージの売上高増加

惣菜その他

ハンバーグの売上高増加

食肉加工品

国産牛肉、国産豚肉の売上高減少(相場の下落等により)



平成22年3月期 業績予想



滝沢ハム株式会社



平成22年3月期 業績予想(連結)

(単位:百万円)	22年3月期予想	21年3月期実績	増減	備考
売上高	33,600	31,878	1,722	
経常利益	330	4	326	
当期純利益	270	-125	395	
EPS(円)	26.29	-12.21	38.50	
ROE(%)	13.1	—	—	

EPS=1株当たり当期純利益

ROE=株主資本利益率

※ 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により、記載の業績予想と異なる結果になる場合があります。

経営方針と今後の取り組み

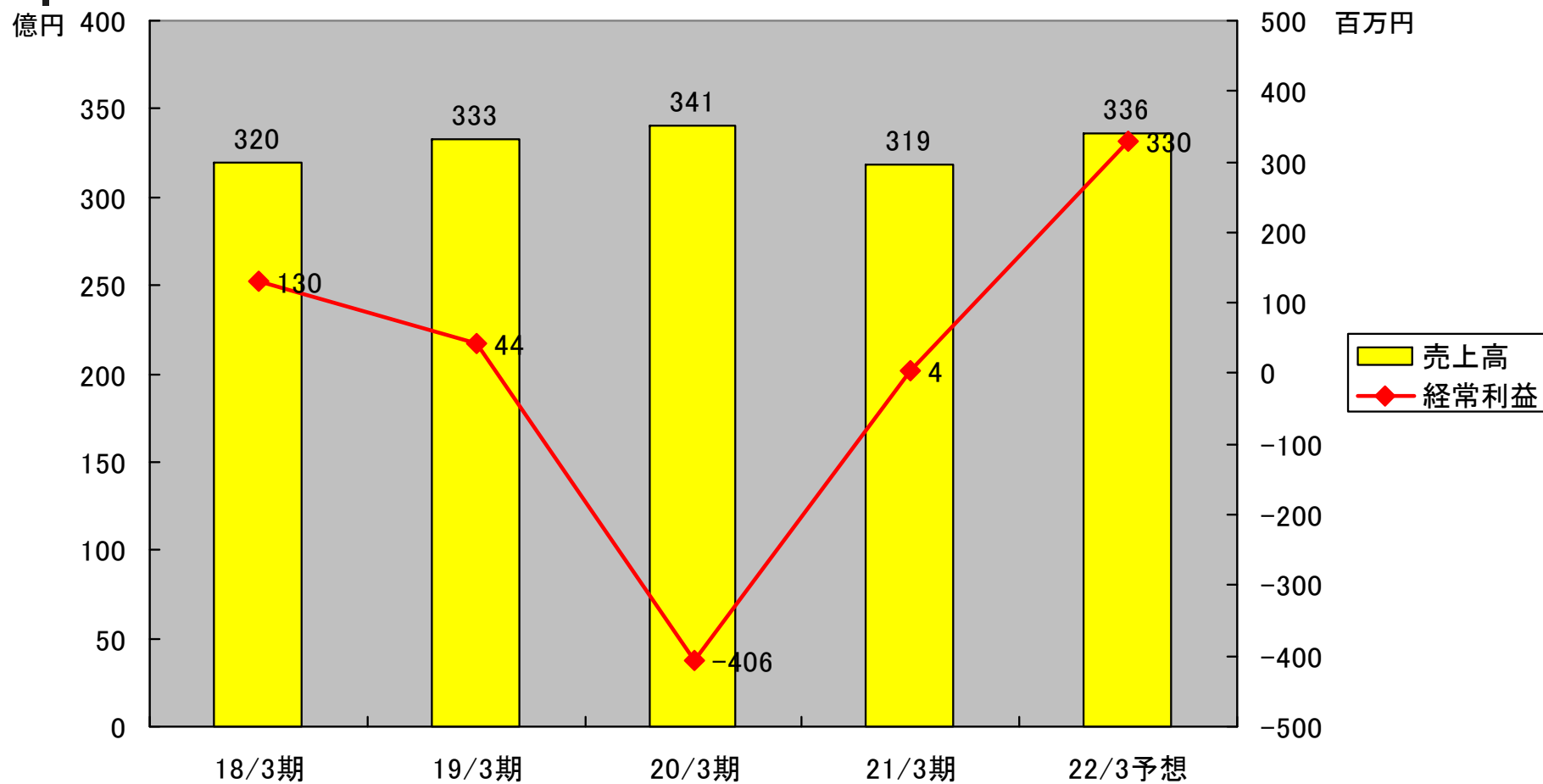
経営方針

「より良い食品を通じて食文化の向上と健康増進に貢献する。」を経営理念としております。お客様に対し、安全、安心で、よりおいしい商品を常に提供し続けてまいります。

今期の取り組み

1. ローコスト・オペレーションの確立
2. 原価意識をもった業務運営の推進
3. 財務体質の強化(遊休資産の売却等)
4. マルハニチロ畜産との業務提携推進
5. 技術革新への積極的挑戦

売上高、経常利益の推移(連結)





本資料に関するお問い合わせ

- 滝沢ハム株式会社
- 経営企画室
- TEL : 0282-23-5640
- E-mail: tk4903@takizawaham.co.jp